



シルバー所沢

第134号

2016年4月1日

つどいの樹

発行：公益社団法人 所沢市シルバー人材センター 編集/広報委員会
〒359-1143 所沢市宮本町1-1-2

☎ 04-2928-8695 / FAX 04-2924-0630
ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>

▽もくじ△

- 2頁 地域サポート研修
会員データベースの今
- 3頁 PC教室の技をPR
清掃研修会を開催
- 4頁 就業要綱の改正とは
27年度の地区活動
- 5頁 第4回公開講演会
- 6頁 サークル訪問
健康一口メモ
- 7頁 お仕事拝見
組織が変わります
- 8頁 新入会員の研修会
シルバー豆宣伝他



元気の源は

奥様の手料理

田中隆清さん

どんな仕事も慣れれば楽しいと、今年81歳の田中隆清さん（三ヶ島）。

10歳の時、住んでいた大阪で空襲に会い、一家で四国・香川へ疎開。そこで食べる大変さと同時に、豊かな自然を経験したそうです。

定年退職後に始めた料理教室の仲間がきっかけでシルバーに入会。それから13年、お中元やお歳暮の宛名書き、お彼岸時の塔婆書き、マンション清掃などいろいろな仕事に携わり、今は市広報の配布と営農に就業中。疎開していた時、父を手伝った農作業の記憶がよみがえり、作る楽しみを満喫しているそうです。

料理上手な奥様に食べ過ぎを注意されながら「何でもおいしい」。特に大好物の酒粕は「多めに」と、ますます元気な田中さんです。（田中）

地域サポート事業 課題克服へ研修会

地域サポート事業が昨年10月にスタートして半年。事業に関心を持ち、アンケート（サポート作業一覧）に回答していただいた三百数十名の会員を対象にした初めての研修会が3月15日（火）、センターで開催され113名が出席しました。

講義「会員の就業と地域支援」

森澤弘理事長の挨拶の他、埼玉西協同病院の脳いきいきインストラクター、伊藤昌子さんに「シルバー会員の就業と地域支援」あなたも脳ト

レでイキイキ元氣」のテーマで講義をしていただきました。

地域サポート事業は、住み慣れた地域や家で、安心して暮らせるための支え合いの仕事です。健康なシルバー会員なら誰でも地域のために役に立てる仕事です。

開始半年、見えてきた課題

事業は昨年夏、地域ごとに説明会を開き、会員皆さんの意見を聞きながら始まりました。この半年の実績からさまざまな課題が見えてきました。そうした課題を反映した新しい「就業の手引き」を作成し、事業の目的に合わせ、就業者の立場にも立ちながら就業方法について修正を加

平成 28 年度スローガン

「生涯現役」

生きがい作りを通して
社会の役に立つ存在として
頑張っていこう！

平成 28 年度の年度スローガンが発表されました。このスローガンは森澤弘理事長が掲げ、会員・役員・職員が、センターの事業を達成するうえでの指針とするものです。

えました。例えば会員の安全対策、料金の取り扱い、仕事内容、作業用道具などです。

さらに、受注を増やすための今後の対策、地域の力の活用方法、研修会の持ち方など、新年度はこれらの課題を克服しながら、会員皆さんとともにより良いものを作り上げていきたいと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。

（コーディネーター・塩原茂子）

就業につながる宝の山

会員データベースの今

所沢シルバーでは、会員皆さんの豊かな知識と経験を生かし、健康で生きがいをもって毎日を過ごしていただきたいと考えています。そこで一人ひとりの能力や思いに合わせた就業へとつなげるために3年前、会員データベースを構築しました。

●こんな活用をしています

昨年度立ち上げたパソコン班では、パソコンの技能や経験、就業の希望などをデータベースから絞り込み、パソコンレスキュー、パソコン教室、業務（パソコンを活用した仕事は就

業開拓途上です）の3グループで活動を始めました。

また、仕事によつては資格（保育士・栄養士・調理師・介護福祉士・自動車整備士など）を要求されるケースもあり、データベースから会員の希望に合うかどうかあわせて検索しています。

また、清掃や高齢者のお手伝い、家事援助など需要の多い仕事に対して、日程などの調整がつくかどうかも含めてデータベースで調べると、より早く探すことができます。特に地域サポート事業では、アンケートで対応できる仕事などを回答していただいた方の中から、地域条件を考慮して就業を依頼しており、今後さらに活用頻度が高まると予想されます。

●まだまだ広がる活用方法

外国語などに堪能な方、趣味を仕事に生かしたい方などもおり、さらに就業内容の幅を広げていきたいと考えています。データを生かし機能的に就業につなげられるよう、より一層の工夫をしていきます。

なお、会員データベースは、個人情報保護法に基づいて管理されています。（事務局）

パソコン教室の 技をPR

武蔵下山口でロビー展

所沢シルバーの独自事業・パソコン教室の受講者と講師陣がパソコンを駆使して作った作品を、武蔵野銀行下山口支店の協力で2月の1カ月間、ロビーに展示しました。



作品は写真を画像処理した部門、広告・ちらし部門、はがき部門に分け合計13点。画像処理では富士のパノラマ写真やコラージュ。チラシ部門では切り絵展などの各種案内、干し柿頒布会、百恵ちゃんの作成した

キルトを使ったカレンダー等々。はがきでは年賀状、自作の花の絵を使ったお便りをA4サイズの額に12枚並べました。

教室で講師を務める筆者が会場を訪問した時、写真が趣味という方が熱心に見ており「写真を上手に使って綺麗な作品が多いですね」と感想をいただきました。出品者の一人として、とてもいい気分でした。

作品展は初めての試みでしたが、展示案内には「所沢シルバー・パソコン教室」と書かれ、大いにPRできたと思います。ロビーの広さから「もう少し出展数を増やせば良かったな」と少し残念でしたが、これからは機会を見つけて作品展を開きたいと考えています。
(増田)



クリーンスタッフ 職群班を目指して

所沢シルバーの就業者の半数以上を占めるクリーンスタッフ（清掃業務）を対象に、昨年10月から3回の研修会を実施しました。近い内に職群班の発足を目指しています。

初回は10月20日（火）、データベースに「清掃業務に関心あり」と登録した未就業会員に案内状を送り、20名が参加しました。森澤弘理理事長や就業開拓委員会が清掃業務の重要性などを講演。3名の会員が体験談を発表しました。研修会のあと早速、開拓委員の元へ就業相談に行った会員もいました。

年明け後は、現在クリーンスタッフとして活躍中の会員の研修会。1月28日（木）は108名、2月24日（水）には86名が出席しました。2回とも「クリーンスタッフ研修会」と銘打ち、森澤理事長の講演の他、就業開拓委員会や職群班組織委員会から、仕事上の心構えや職群班を作るメリットなどが報告されました。

その後、参加者は同種の業務ごとに分かれグループ討議。「作業内容が



詳しく知らされていない」「マニュアルがない」「人間関係で悩むことがある」など、活発に意見交換しました。討議を受けて高柳倫子副理事長は「困った時は事務所に相談して欲しい」と応じていました。

今年の2回の研修会は屋内、屋外、公共、民間全ての清掃業務を共同して開きましたが、今後は公共屋内職群班、公共屋外職群班、民間屋内職群班、民間屋外職群班と大きく4つの職群班を発足させる予定です。各職群班は必要に応じ更に小グループを作り、グループごとの研修会などを開きたいと考えています。会員皆さんのご協力をお願いします。

(職群班組織委員会)

― 就業に関する要綱 ―

改正でどう変わったの？

「就業に関する要綱」の一部改正が4月から施行されました。ポイントは「自動車運転業務は70歳、その他の業務は75歳」が安全就業の適性を確認する基準となりました。

Q…どのような改正ですか？

A…これまで「75歳になると就業できない」と誤解されていました。表紙で紹介した田中隆清さんのように健康で就業意欲のある会員は、年齢にかかわらず就業できることを明確にしました。

Q…「健康及び業務状況調査票」が送られてきましたが？

A…75歳以上の会員には年2回、調査票が届きます。就業の有無にかかわらず、健康状態などを記入して必ず提出してください。提出された調査票を基に就業の適否確認が行われます。未提出の場合、就業の継続や紹介ができなくなります。

Q…現在、自動車の運転が必要な業務に就業中ですが？

A…70歳から、安全に運転できるかを確認させていただきます。70歳

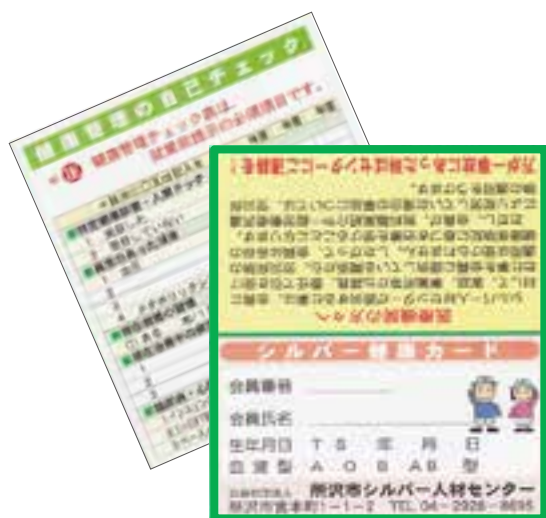
以降は毎年「シルバードライバードック」の受講が必須となります。自動車の運転そのものが仕事の場合はもちろん、就業に運転を伴う70歳以上の会員も対象となりましたので、同ドックを受講してください。

(安全・適正就業委員会)

配布されます

「シルバー健康カード」

所沢シルバーでは、会員が健康で元気に働くために、平成23年度から健康カードを導入しました。近く、平



成28年度版が配布されます。受け取りましたら「健康管理の自己チェック」を記入し常時携帯してください。

就業相談の際は、このカードを基に健康状態について、就業開拓創出員の質問に答えていただきます。

健康は安全就業の第一条件です。自分の健康は自分で守るために、この「シルバー健康カード」を活用しましょう。

(安全・適正就業委員会)

趣向を凝らし地区懇

地域交流も活発に

地区懇談会は、地元でシルバー本部との意見交換ができる地区活動の大きな事業の一つです。27年度は9月の山口からスタート、2月の柳瀬まで11地区全てで開催されました。地区懇談会と同時に就業開拓委員会の協力で就業相談も行われ、中でも個人面談を行った三ヶ島では15名の会員が参加しました。

各地区とも、懇談会後の懇親会ではそれぞれ趣向を凝らした催しがありフラダンスや親父バンド、マンドリン演奏、落語などを楽しみました。なお地区懇談会は全会員に案内



三ヶ島地区懇談会

状を出し、参加率は全体で20・2%（26年度は21・4%）でした。

地区文化祭に7地区が参加

地域活動にシルバーも協力をしようとして26年度から始まった地区文化祭参加には、新たに中央と富岡が加わり松井、山口、吾妻、三ヶ島、所沢の7地区が実行委員会に協力しました（小手指は公民館改修のため開催されず）。所沢シルバーのPRのほか模擬店などで地域住民との親睦を図りました。

また柳瀬は3月に柳瀬ふくし祭りに、中央は町内会夏祭りにも参加。吾妻と山口は荒幡富士の清掃活動に参加しました。（地区活動委員会）



並木公民館まつり

心込めたサービスは

ご近所

付き合いにも

所沢シルバーの第4回公開講演会が1月20日(水)、中央公民館で開かれました。大雪の直後であちこちに雪が残り、冷え込みも厳しいあいにくの天候でしたが多くの会員や市民が参加しました。

テーマは「サービスから学ぶ地域コミュニケーションについて」。講師の福島彰さんは西武鉄道関連の観光事業に長く携わり、現在は良質なサービスで顧客満足度を上げることを目指して、各企業の従業員教育や講演会などで活躍しています。

身ぶりを交えた講演は、レストランやデイズニールランドのサービスを具体例に、心を込めた接客術はご近所との良好な人間関係を作ることに通じると強調。随所で聴衆を巻き込んだのは1時間を越えました。



第4回公開講演会

第2部は—JAY'S GARDEN ライブ
会場もリリだ〜！

福島さんの講演に続いて第2部は JAY'S GARDEN のライブ。

JAY'S GARDEN は所沢で音楽活動を続けていた若者5人が平成20年に結成したJ-POPボーカルグループ。昨年秋には市民文化センター・ミューズのマーキーホールで開いたライブを満員にするなど、熱烈なファンがついています。

その実力を買われ所沢市観光大使も務めています。

ステージは最初からパワー全開で、メンバーのお父さん、お母さん世代のシルバー会員も手拍子でノリノリ。シルバーには程遠い若い女性の姿もありました。

途中からはトコロロンも友情出演？し、メジャーデビューを果たした「頑張っていこうぜ」など、アンコールも含めて9曲を熱唱。元気をもらったライブでした。(広報委員会)

あなたが経験した

ヒヤリ・ハットは

体験事例を募集

「安全は全てに優先する」はシルバーの大前提です。しかし残念ながら27年度も2月末現在で21件の事故が起きました。

「作業中ヒヤリしたことがある」「自転車で乗っていてハットした」という「ヒヤリ・ハット」体験が重なり事故に至ります。有名なハイネリッヒの法則は「1件の重大事故の背後には29件の軽い事故が、軽い事故の背後には300件のヒヤリ・ハットがある」と指摘しています。

会員皆さんが就業中に、また就業先との往復途中で経験したヒヤリ・ハット事例を募集します。事例集にまとめ、その体験を共有することで事故をなくしたいと考えています。

※書式は自由(匿名希望の場合は忘れずに(匿名希望の場合はその旨を明記して下さい))

※締め切り 4月30日(土)

※提出先 II センター受付。または FAX 04・2924・0630

※抽選で5名様に粗品を進呈

(安全・適正就業委員会)

投稿をお待ちしております。ご意見、感想文、短歌、川柳など(400字以内。地区名、氏名を明記) 作品は不返。広報で編集することもあります。また掲載できない場合もあります。ご了承下さい。投稿箱は事務局右横。郵送可。

悠和会

サークル訪問 25

楽しくスケッチ旅行

— 四季を描く会 —

会長・高荒良吉

春夏秋冬のスケッチ旅行、作品展への出展や年末の版画作成を主に活動しています。

今年のスケッチバスツアーのテーマは「駿河湾で世界遺産・富士山を描く」で 17 名が参加者しました。

快晴に恵まれた 3 月 2 日、狭山ヶ丘駅前を出発し、まず沼津市の沼津御用邸記念公園へ。当日は 3 月 3 日のひな祭りにちなみ雛人形が飾られていました。

伊豆海岸での磯料理に満足した後



沼津御用邸記念公園で

は駿河湾を望む沼津市淡島へ。残念ながら、お目当ての富士山は雲に隠れて写真撮影のみに。この後、やはり世界遺産の韮山反射炉を見学し、最後に三嶋大社に参拝。今回のスケッチ旅行がどんな作品に結実するか楽しみな一日でした。

※材料費 11000 円

※活動日 第 2 火曜日

※活動場所 中央公民館

※問い合わせ 悠和会事務局

☎ 04・2928・8695

声を出して健康づくり

— カラオケサークル —

会長・枅沢英雄

長年にわたり会長を務めていた塩田富美江さん（松井）から、その役目を引き継ぎました。

サークルの練習は毎月 3 回、市の老人福祉センター「うしぬま荘」で行っています。2 回は先生による歌唱指導を受け、残り 1 回は習った曲の復習や各自の得意な曲を歌ったりして楽しんでいきます。昨年からはプロの歌手も講師に迎え、情感に磨きをかけています。

定期的な練習の他にも新年会、花見の会、暑気払い、忘年会と四季折々



うしぬま荘での練習

に会員相互の親睦を図っています。また「うしぬま荘」祭りにも積極的に参加しています。

会員募集も常時行っており、昨年中に 8 名の仲間が増えて会員数は 20 名になりました。皆さんの参加をお待ちしています。

※月会費 11000 円

※活動日 毎週火曜日（月 3 回）

※問い合わせ 悠和会事務局

☎ 04・2928・8695

お詫び 1 月号（133 号）の

サークル訪問「悠和ちぎり絵会」の会長のお名前「近藤ミエ子」さんは「近藤ミネ子」さんの誤りでした。お詫びし訂正します。（広報委員会）

健康一ロ×モ 33

お口も体操を

50 代の M さんは失業して、家で過ごすことが多くなりました。もともと話好きだったのに、たまに外で人と会っても言葉がすぐに出なくなつたそうです。

手足と同じで、口の筋肉も使わないと衰えてしまいます。普段の生活でも口をしつかり開けて、はつきり話す、歌う、食事の前後にうがいすること、自然に口の筋肉を使うようになります。また肺炎の原因となる誤嚥（ごん）（食べ物）が気管に入ること（予防には「パ！タ！カ！ラ！」と発声したり、舌を前後左右に動かす体操が有効です。日頃から外に出かけて人と話すことは、足腰や頭だけでなく、口の運動にもなります。M さんは仕事に復帰し、元の話好きに戻りました。

（保健師・西村園子）

慰霊の場に 人柄を映し

霊園を奇麗に

所沢市と東京都の境にある「秋津ふれあいパーク」。名前は「公園」のようですが、株式会社いせやが経営する霊園です。



お仕事拝見 73

場所柄、服装は地味めにし、お墓参りや利用者が多い時は事務所で清掃ができる場所を確認し、臨機応変に対応するそうです。「お参りの方に、なるべく姿を見せないように配慮しています」と竹村さん。「以前、熱中症で入院した経験があるので体調管理が大切です。自宅からここまで適度な距離を歩くのも健康にはいいのかも」と付け加えてくれました。

取材のためにわざわざ姿を見せてくれた鎌田さんは「高齢の方が使うトイレの清掃には特に気をつけています」と優しい笑顔。厳肅な慰霊の場での仕事に、お二人の人柄が反映されているようです。

(渡邊)

<理事会報告>

12月理事会=12月25日(金)

議案=◆新入会員の承認。

報告事項=◆各委員会の活動報告他。

1月理事会=1月29日(金)

議案=◆新入会員の承認

◆委員会組織要綱の一部改正を承認。

報告事項=◆各委員会の活動報告他。

2月理事会=2月29日(月)

議案=◆新入会員の承認

◆事務・職員就業及び職員給与規定の一部改正を承認◆事務費規程の一部改訂を承認◆平成28年度事業計画及び収支予算を承認。

報告事項=◆各委員会の活動報告他。

組織が変わります

1月29日に開催された理事会で、委員会組織要綱の一部改正が承認されました。新しい組織は、理事・委員の改選後、6月から実施されます。新組織は、従来の体制を見直し、3部会8委員会に再編成されます。各委員会と役割は次の通りです。

○事業推進委員会

シルバー理念に基づき、事業運営や各委員会の方向性など、全体的な事項を策定・提案します。

○総務委員会

諸規定の制定や見直し、公開講演会の計画・実施などを行います。

○会員活性化委員会

会員の増強や活性化にかかわる研修会の実施やシルバーPR事業など

理事会

事業部会

事業推進委員会

総務部会

総務委員会

会員活性化委員会

地区活動委員会

広報委員会

業務部会

就業推進委員会

職群班委員会

安全推進委員会

を行います。

○地区活動委員会

地区の組織や会員管理の推進、シルバー事業への参加や普及啓発活動の計画・実施を行います。

○広報委員会

広報紙「つどいの樹」の発行やホームページの運用を通して、会員への情報発信やシルバー事業のPRを行います。

○就業推進委員会

就業機会の創出や拡大とともに、就業の適正に関する裁定を行います。

○職群班委員会

職群班の構築と仕事グループの編成、独自事業の企画や運営を行います。

○安全推進委員会

会員の安全就業や事故防止対策の実施、その啓発活動を行います。

シルバー豆宣伝



所沢市シルバー人材センター の仕組み

- センターの目的・趣旨にご賛同頂き、健康で働く意欲のある60歳以上の方が会員として登録できます。
- センターはご依頼者の仕事を責任を持って請け負います。
- センターは会員に仕事を提供し、仕事量に応じて配分金を支払います。

⇒ 会員を募集しています!!

○健康相談日

健康で、元気に就業していただくため、健康相談を行っています。

日時＝4月18日(月)10時～12時
5月19日(木)10時～12時
6月16日(木)10時～12時
7月21日(木)10時～12時

場所＝センター・2階会議室

○就業相談日

就業相談で、あなたにふさわしい就業先を見つけてください。

日時＝毎週水曜日14時～15時半
(祝日の場合は翌日)

場所＝センター・2階会議室

あとかぎ

○表紙の田中さんは、何にでも意欲的に取り組み、それを楽しむ、まさに生涯現役を実践しています。これからもそんな会員を紹介します。

○就業に関する要綱の一部改正が施行されました。環境の変化に応じていろいろな約束事が、適宜改正されます。その都度お知らせしますので、紙面にご注意ください。(田中)

今年も 新三八市に参加

3月12日(土)、所沢商工会議所主催で、昨年復活した「新三八市」が開催され、所沢シルバーも参加しました。

今回は就業開拓委員会、職群班組織委員会を中心に、手作り工房や営農スタッフの手助けを得て、シルバーショップ作品や朝採れ野菜、甘酒などを販売し、好評でした。

新入会員の研修会 を開催

2月16日(火)、新入会員50名が参加して研修会が開かれました。

既存会員の研修会が一巡したことから、27年度以降は入会間もない会員を対象に、センターに対する理解を深め、就業へのステップとなることを目的に開催され今回が3回目。森澤弘理事長、高柳倫子副理事長の講話に続き、杉本慎一さん(山口)、榎木とも子さん(新所沢)が「私のシルバーライフ」と題して、入会の動機や就業の実態、現役時代とは違う充実した日々を語りました。

◇清掃ボランティア

昨年の清掃ボランティアが雨天のため中止となりましたので、改めて春に開催します。

日時＝5月17日(火)9時～
場所＝所沢航空記念公園



◇定時総会は6月7日開催

平成27年度結果報告、平成28年度事業計画、役員改選など、重要案件の審議が予定されています。総会後には懇親会も同じミューズ内の展示室で開催されます。出欠の有無、委任状の提出を忘れずに。同時に悠和会総会も開催されます。

日時＝6月7日(火) 詳細は別途
場所＝ミューズ・マキールホール
(航空公園駅東口より徒歩約10分)

◇会費納入の時期です

年会費の納入時期になりました。悠和会の年会費と合わせて2000円です。就業中の会員は7月の配分金から差し引きとなります。